

# アモス書

並木浩一訳

周辺諸国の罪過の数々

ダマスコへの預言 (1・3～5)

<sup>3</sup> ヤハウエはこう言う、

ダマスコの三つ、四つの罪過のゆえに、

私は決して撤回しない。

彼らが鉄の脱穀板を用い、

ギルアドを踏みにじったからだ。

<sup>4</sup> 私はハザエルの家に火を放つ、

火はベン・ハダドの城郭をなめ尽くす。

<sup>5</sup> 私はダマスコの城門の門を砕き、

ビクアト・アベンから王位者を

ベト・エデンから王笏おうしやくを持つ者を断つ。

アラムの民は捕囚とらひことなつてキルに向かうと、

ヤハウエは言った。

ペリシテへの預言 (1・6～8)

<sup>6</sup> ヤハウエはこう言う、

ガザの三つ、四つの罪過のゆえに、

私は決して撤回しない。

彼らが捕らえて虜とらひこにした全員を

## 第1章

序言 (1・1)

<sup>1</sup> テコア出身の牧者のひとり、アモスの言葉集。あの地震の二年前、ユダの王ウジヤの治世、イスラエルの王ヨアシユの子ヤロブアムの治世に、彼はイスラエルに向けられた言葉を見た。

## I 諸国民に対する預言

導入句 (1・2)

<sup>2</sup> 彼は言った、

ヤハウエはシオンから吼え、

エルサレムからその声を放つ。

牧人たちの牧草地は嘆き、

カルメルカルメルの頂は枯れる。

エドムに引き渡したからだ。

7 私はガザの城壁に火を放つ、

火はその城郭をなめ尽くす。

8 私はアシシドドから王座の者を

アシケケロンから王笏を持つ者を断ち、

さらに手を返してエクロンを撃つ。

またベリシテ人の残りの者も滅びると、

主なるヤハウエは言った。

ティルスへの預言（1・9〜10）

9 ヤハウエはこう言う、

ティルスの三つ、四つの罪過のゆえに、

私は決して撤回しない。

彼らが捕らえて虜にした全員を

エドムに引き渡し、

兄弟の契約を心に留めなかったからだ。

10 私はティルスの城壁に火を放つ、

火はその城郭をなめ尽くす。

エドムへの預言（1・11〜12）

11 ヤハウエはこう言う、

エドムの三つ、四つの罪過のゆえに、

私は決して撤回しない。

彼が剣で兄弟を追って 憐れみの情を断ち、

絶えず怒りを燃やし 怨恨を抱き続けたからだ。

12 私はテマンに火を放つ、

火はボツラの城壁をなめ尽くす。

アンモンへの預言（1・13〜15）

13 ヤハウエはこう言う、

アンモンの人々の三つ、四つの罪過のゆえに、

私は決して撤回しない。

彼らはギルアドの妊婦を切り裂き、

彼らの領土を拡張しようとしたからだ。

14 私はラバの城壁に火をつける、

火はその城郭をなめ尽くす。

戦いの日に上がる鬨の聲の中、

嵐の日の大風の中で

15 彼らの王は捕囚に向かう、

その高官たちと一緒にと、

ヤハウエは言った。

モアブへの預言（2・1〜3）

第2章

1 ヤハウエはこう言う、

モアブの三つ、四つの罪過のゆえに、

私は決して撤回しない。

彼らがエドムの王の骨を焼いて、石灰にしたからだ。

2 私はモアブに火を放つ、

火はケリヨトの城郭をなめ尽くす。

関の聲が上がり、角笛が鳴り響く中で、

モアブは喧騒の内に死ぬ。

3 私は統治者の中から断ち、

その高官たちを皆殺しにすると、

ヤハウエは言った。

ユダへの預言（2・4〜5）

4 ヤハウエはこう言う、

ユダの三つ、四つの罪過のゆえに、

私は決して撤回しない。

彼がヤハウエの教えを拒み、

その掟を守らず、

先祖も追いかけたあの偽りたちが、

彼らを惑わしたからだ。

5 私はユダに火を放つ、

火はエルサレムの城郭をなめ尽くす。

イスラエルへの預言（2・6〜8）

6 ヤハウエはこう言う、

イスラエルの三つ、四つの罪過のゆえに、

私は決して撤回しない。

彼らが正しい者たちを金のために、

貧しい者を一对の履き物のために売り飛ばしたからだ。

7 彼らは弱い者たちの頭を地の塵の上で踏みつけ、

苦しむ者たちの道を曲げている。

父と子が同じ女のもとに通い、

わが聖なる名を汚している。

8 彼らはどの祭壇の傍らにも、

差し押さえた衣を広げ、

督促を受けた者のぶどう酒を

彼らの神の家で飲んでいる。

ヤハウエの恩恵に背く行為（2・9〜12）

9 それでも、この私は彼らの行く手から

アモリ人を滅ぼした。

彼らはレバノン杉のように高く、樜のように強かったが、私が、上はその実から、下はその根に至るまで滅ぼした。

10 私はエジプトの地からあなたの方を導き上り、  
四十年の間、荒れ野を行かせ、  
アモリ人の地を得させた。

11 私はあなたの方の子らの中から預言者を、  
あなたの方の若者の中からはナジル人びとを立てた。  
イスラエルの子らよ、そうではないのか、

——とは、ヤハウエの託宣——  
12 しかし、あなたの方はナジル人に酒を飲ませ、  
預言者たちに「預言するな」と命じた。

### 裁きの予告（2・13〜16）

13 見よ、私<sup>が</sup>あなたの方を押し潰す、  
麦満載の車が押し潰すように、だ。

私<sup>が</sup>あなたの方を押し潰すので、  
14 素早い者も逃げ切れず、  
強者つわものもその力を振るえず、

勇者も自分の命を救えず、  
15 弓を引く者も立っていられず、

足速の者も助からず、

馬の乗り手も命が助からない。  
16 益ますら荒男おの中の剛毅な者も  
その日には裸で逃げる。

——とは、ヤハウエの託宣——

## Ⅱ イスラエルに対する預言集

選ばれたイスラエルに対する処罰の論理（3・1〜2）

### 第3章

1 聞けこの言葉を、イスラエルの子らよ、  
ヤハウエが語ったのだ、あなたの方に対して、  
エジプトの地から導き上ったすべての氏族に対して。

2 地上のすべての氏族の中から、  
私<sup>が</sup>選んだのは、あなた方だけだ。  
それゆえ、私はすべての不義のゆえに  
あなた方を罰する。

獅子の咆哮を耳にしないのか？（3・3〜8）

3 ふたりの人が落ち合う約束もしないで、  
一緒に歩くだろうか。

4 獅子が獲物が捕れなかったのに、森の中で吼えるだろうか。

若獅子が何かを捕らえなかったら、その巢穴から唸り声を上げるだろうか。

5 鳥は地上に仕掛がないのに、罨に向けて降りるだろうか。

何かを捕らえていなければ、罨が地面から飛び上がるだろうか。

6 町で角笛が吹き鳴らされたら、人々は驚かないだろうか。

町に災いが起こったら、それはヤハウエが行ったのではないか。

7 まことに、主ヤハウエはその秘密をその僕である預言者に開示することなしには、何事もなさらない。

8 獅子が吼える、誰が恐れずにいられよう。

主なる神が語られる、誰が預言せずにいられよう。

### イスラエルの罪の現実とヤハウエの処罰の予告

(3・9〜11)

9 告げよ、アシュドドにある城郭に、

エジプトの地にある城郭に対して、  
言え、サマリアの山々に集まれ、

そして見よ、その只中での大いなる混乱と  
その真中での圧政の数々とを。

10 彼らは正しいことの実行を知らないで、  
——とは、ヤハウエの託宣——

彼らは暴力と破滅をその城郭に貯えている。  
11 それゆえ、主なるヤハウエはこう言う、

敵がこの地を囲み、  
あなたの權威を引きずり落とし、  
あなたの城郭を奪い取る。

### 獅子の攻撃を受ければ (3・12)

12 ヤハウエはこう言う、

牧者が獅子の口から両脚を、  
あるいは片耳を助け出すように、

イスラエルの子らも助け出される、  
サマリアに住む者たちもまたそうだ、

寝台の端切れや長椅子の脚先を携えて。

裁きを受け止めることができるのか？ (3・13〜15)

13 聞け、証言せよ、ヤコブの家に、

——主なるヤハウエ、万軍の神の託宣——

14 まことに、わが裁きの日、

イスラエルの罪過を罰する日に、

ベテルの祭壇を処罰し、

祭壇の角どもは切り倒され、地に落ちる。

15 私は冬の家を夏の家と共に打ち壊し、

象牙の家は壊され、大邸宅も跡形がなくなる。

——とは、ヤハウエの託宣——

富者の傲りとその帰結 (4・1〜3)

#### 第4章

1 聞け、この言葉を、

サマリアの山にいるバシヤンの雌牛どもよ、

あなた方は

弱い者たちを圧迫し、貧しい者たちを虐げている、

その夫たちに向かって言う、持ってきたさい、

一緒に飲もうと。

2 主なるヤハウエは聖なるご自身に誓った。

まことに、あなた方にその日々が臨む、

この方があなた方を鉤かぎで引き上げる、

その最後の者をも釣り鉤にかけて。

3 あなた方は各々、破れ口を通って、

ハルモンの方へと投げ出される。

——とは、ヤハウエの託宣——

イスラエルの回心に向けての呼びかけ

罪を犯すために礼拝に行くのか (4・4〜5)

4 ベテルへ行って罪過を犯し、

ギルガルへ行って罪過を重ねよ。

朝毎にあなた方の犠牲を献げ、

三日目にあなた方の十分の一の献げ物を供えよ。

5 種入れぬパンの感謝の献げ物を煙にせよ、

自発の献げ物をせよと、大声で叫べ、

それがあなた方の好むところだ、イスラエルの子らよ。

——とは、主なるヤハウエの託宣——

頑なに私に帰らない者たちよ (4・6〜11)

6 また、私はあなた方に試みた、

あなた方の歯を清く保たせ、

あなた方のすべての町でパンを欠乏させたのだが、

あなた方は私に帰らなかった、

——とは、ヤハウエの託宣——

7 また、私はあなた方に雨を拒んだ、

刈り入れが三か月先に迫っていたのに。

私はある町には雨を降らせ、

他の町には雨を降らせなかった。

ある畑には雨が降ったが、

雨が降らなかった畑は枯れてしまった。

8 二つ三つの町が、水を飲むようと

一つの町によるめき込んだが、

渇きは癒やされなかった。

それでも、あなた方は私のものには帰らなかった。

——とは、ヤハウエの託宣——

9 私はあなた方を立ち枯れと赤さび病で、

あなた方の園とぶどう畑を繰り返し撃った。

また、あなた方のいちじくの樹とオリーブの樹は

噛み喰らうばったが食い荒らした。

それでも、あなた方は私のものには帰らなかった。

——とは、ヤハウエの託宣——

10 私はあなた方にエジプト同様に疫病を送り、

あなた方の若者たちを剣で殺し、

さらに馬たちをも捕獲し、

あなた方の陣営に悪臭を上らせ、鼻を突かせた。

それでも、あなた方は私のものには帰らなかった。

——とは、ヤハウエの託宣——

11 私はあなた方を破滅させた、

神がソドムとゴモラを破滅させたように。

あなた方は火炎の中から救い出された

燃えさしのようになった。

それでも、あなた方は私のものには帰らなかった。

——とは、ヤハウエの託宣——

ヤハウエと出会う準備をせよ (4・12)

12 それゆえ、私はあなたにこのようにする、

イスラエルよ、

私がこのように、このことを行うのだから、

自分の神に出会う備えをせよ、イスラエルよ。

《間奏曲》 頌栄 1 (4・13)

13 見よ、まことに

山々を形造り、風を創造し、

ご自身の計画を人に告げ、

曙を暗闇に入れ込み、

地の高きところを踏みつける方、

その名は万軍の神ヤハウエ。

イスラエルへの挽歌 (5・1〜3)

第5章

1 聞け、この言葉を、

君たちに向け、私が声張り上げる挽歌の調べを、

イスラエルの家よ！

2 乙女イスラエルは地に倒れ伏して 再び起き上がらず、

助け起こす人もいないのだ。

3 まことに、主なる神はこう言う、

千人出征させた町に 生き残るのは百人、

百人出征させた町に 生き残るのは十人、

イスラエルの家では。

再起への促し (5・4〜6)

4 まことに、ヤハウエはイスラエルの家にこう言う、

私を求めよ、そして生きよ、

5 ベテルを求めな、

ギルガルに行くな、

ベエル・シエバに赴くな。

ギルガルは必ず捕囚に連れ去られ、

ベテルは不義に帰するから。

6 ヤハウエを求めよ、そして生きよ、

さもないとヤハウエは火のようにヨセフの家を襲って、

燃えさかっても、ベテルのために消し止める者はいない。

諸君はと言えば (5・7)

7 公正を苦ヒツよもぎに変え、

正義を地に投げ捨てる者たちよ！

《間奏曲》 頌栄 2 (5・8〜9)

8 プレイアデスとオリオンを造った者、

暗黒を朝に転じ、昼を夜に換える者、

海の水を集めて地の上に注ぐ者、

その名はヤハウエ。

9 強者に破滅をもたらす者、  
彼が皆に破滅を来たらず。

悪行を離れて公正を確立せよ (5・10〜15)

10 彼らは門で諫める者を憎み、  
眞実を語る者を嫌悪する。

11 このように、あなた方は弱者を踏みつけ、  
彼らから穀物の上納分を吸い上げる。

あなた方は切石の家を建てるが、  
そこに住むことはできず、

見事なぶどう畑を育成しても、  
そのぶどう酒を飲むことはできない。

12 まことに、私はあなた方の罪過の多さと  
諸々の罪の深さを知っている。

あなた方は正しい者に敵対して賄賂を取り、  
町の門で貧しい者たちを追い返している。

13 それゆえ、知恵者はこの時代には沈黙する、  
まったく、悪いご時世だ。

14 悪ではなく、善を追い求めよ、

あなた方が生きるために。  
そうすれば、万軍の神があなた方と共にいます、  
あなた方が主張してきた通りにだ。

15 悪を憎み、善を愛せ、

町の門で公正を確立せよ。

あるいは、万軍の神ヤハウエがヨセフの残りの者を  
憐れみたまうかも。

ヤハウエの日の暗さを直視せよ (5・16〜17)

16 それゆえ、万軍の神、主なるヤハウエはこう言う、  
どの広場にも嘆き声が、

どの通りにも「おー、おー」との呻きが満ち、  
人は嘆きのために農夫を、

17 哀悼のために泣き男を呼び、  
どのぶどう畑でも嘆き声が上がると、

私があるの真ん中を通るからだ、  
ヤハウエが言った。

18 人はヤハウエの日の打撃を免れない (5・18〜20)  
災いあれ、ヤハウエの日を切望する者たちに、

あなた方には、ヤハウエの日が一体何の役に立つのだ、それは、闇であって、光ではない。

19 例えばこうだ。人が獅子の前から逃れても、熊に出会い、家に辿り着いて、壁に手をつくると、蛇に噛まれる。

20 ヤハウエの日は暗闇ではないのか。光がなくて闇、そこに輝きはない。

祭儀ではなく公正と正義を（5・21〜27）

21 私はあなた方の祭を憎み、退け、あなた方の聖会を喜ばない。

22 たとえ、燔祭はたぎらいを献げても、穀物の供え物を献げても、

私はこれを受け容れず、あなた方の肥えた家畜による会食の犠牲にも

目を留めない。

23 あなた方の歌の騒音を私から遠ざけよ、あなた方の竖琴の音も私は聞かない。

24 公正を水のように流れさせよ、

正義を流れ続ける大河のように。

25 イスラエルの家よ、荒野野にいた四十年の間、

あなた方は犠牲や供え物を

私に献げたことがあったか。

26 あなた方は自分たちの王としたシクトを、

あなた方の像、キウンを担ぎ廻っている、

それらは自分たちのために、神の像として造っている。

27 そこで私はあなた方を捕囚として、

ダマスコの彼方へと連れて行く。

その名は万軍の神ヤハウエは言った。

自己満足を止めよ、裁きは目前に迫る（6・1〜8）

## 第6章

1 災いあれ、シオンに安住する者たちに、

サマリアの山を頼みとする者たちに、

諸国民のうちで一番だと自負する者たちに、

イスラエルの家が仕えているこの者たちに。

2 カルネに渉りわた、よく見よ、

そこから、ハマト・ラバに行き、

ペリシテ人のガトに下れ。

あなた方の国はこれらの王国に勝っているか、

彼らの領土はあなた方の領土よりも大きいか。

3 あなた方は災いの日を逃れようとして、  
暴虐の支配を引き寄せている。

4 象牙の寝台に身を横たえ、

自分の長椅子に寝そべる者たちよ、

群れの中から選び抜かれた子羊を、

牛舎の中から子牛を取って食べる者たちよ。

5 豎琴の音に合わせて歌を作り出し、

ダビデにあやかり、自分たちのために

楽器を考案する者たちよ。

6 鉢でぶどう酒を飲み、

特上のオリーブ油を身体に塗る者たちよ、

ヨセフの破滅に心を傷めない者たちよ。

7 それゆえ、今や、彼らは捕囚の先頭を切って

捕らわれていく、

寝そべる者たちの宴も終わる。

8 主なるヤハウエはご自身に賭けて誓った、

——万軍の神ヤハウエの託宣——

私はヤコブの誇りを嫌悪し、

その城郭を憎み、

その都とそこに満ちる者を引き渡す。

裁きもたらす悲惨な結果（6・9〜11）

9 もし、一軒の家に十人の男が生き残ったとしても、彼らは死ぬ。10 そして、その親族、遺体を焼く者が、それを家から運び出そうとして、家の奥にいる者に向かつて、「まだ、手許に誰がいるか」と尋ねると、彼は「いない」と答え、「シート！」、「ヤハウエの名を呼び出すな」と言う。

11 まことに、見よ、ヤハウエが命じたのだ、

「大きな家を撃って粉砕し、

小さい家を微塵にせよ」

正しさを転倒する者たちの誇りは瓦解する

（6・12〜14）

12 一体、馬たちが岩の上を駆けるだろうか、

牛たちが海を耕すだろうか。

まことに、あなた方は公正を毒に、

正義の実を苦よもぎに変えた。

13 ロ・ダバルを喜ぶ者たちよ、

「カルナイムを自分たちのために手に入れたではないか」

と言う者たちよ、

14 私はあなた方に対峙する者たちを興す、

イスラエルの家よ、

——万軍の神なるヤハウエの託宣——

彼らはレボ・ハマトからアラバのワデイに至るまで

あなた方を圧迫する。

### Ⅲ イスラエルの将来への幻

#### 第一の幻（7・1〜3）

##### 第7章

1 主なるヤハウエはこのように私に示した。見よ、彼は王の刈り取りの後の遅い穀草が成長し始める頃、ばったの群れを準備していた。2 それが地の草を食べ終えたとき、私は言った。

「主なるヤハウエよ、どうぞお赦し下さい。」

ヤコブはどうして立つことができましょう。

彼は小さいのです」

3 ヤハウエはこれを思い直し、

「このことは起きない」と言った。

#### 第二の幻（7・4〜6）

4 主なるヤハウエはこのように私に示した。見よ、主なるヤハウエは裁きのための火を呼んだ。そして火は大いなる淵をなめ尽くし、地を焼き尽くしたので、5 私は言った。

「主なるヤハウエよ、どうぞお止め下さい。」

ヤコブはどうして立つことができましょう。

彼は小さいのです」

6 ヤハウエはこれを思い直し、

「このことは起きない」と主なるヤハウエは言った。

#### 第三の幻（7・7〜9）

7 ヤハウエはこのように私に示した。見よ、ヤハウエは錫<sup>すず</sup>の城壁の上に立っていた。その手には錫があった。

8 ヤハウエは私にこう言った、

「アモスよ、何が見えるか。」

私は答えた、「錫です」。

主は言った、「見よ、わが民イスラエルのただ中に錫を

置く。見過ごしにできない」。

9 イサクの諸々の高きところは荒らされ、  
イスラエルの諸々の聖所は廢墟になる。  
私は剣で立ち向かう。

#### アマツヤ対アモス(7・10〜17)

10 ベテルの祭司アマツヤは、イスラエルの王ヤロブアムに人を遣わして、言った。「イスラエルの家のただ中で、アモスがあなたに謀反を起しました。この国は彼のすべての言葉に耐えられません」。11 アモスはこう言っています。

「ヤロブアムは剣に掛かって死ぬ。

イスラエルは必ず捕らえられ、

その地から連行される」

12 アマツヤはアモスに言った。「先見者よ、ユダの国に逃れよ、そこでパンを食べ、そこで預言するがよい。13 ベテルでは二度と預言するな。ここは王の聖所、王国の神殿なのだから」。

14 そこでアモスが答えて、アマツヤに言った。「私は預言者ではない。私は預言者の子でもない。私は牧者で、いちじく桑の栽培者だ。15 私が家畜の群れを追っているところから、ヤハウエは私を取り、私に言った。『行け、わが民イスラエルに預言せよ』と。16 今、ヤハウエの言葉を聞

け。あなたは言う、『イスラエルに対して預言するな、イサクの家に向かつて唾を飛ばすな』と」。

17 それゆえ、ヤハウエはこう言う、

あなたの妻は町の中で遊女となり、

あなたの息子娘たちは刃に掛かって倒れ、

あなたの土地は測り縄によって分けられ、

あなた自身は汚れた地で死ぬ。

イスラエルは必ず捕らえられ、

その地の彼方へと捕囚として連れて行かれる。

#### 第四の幻(8・1〜3)

#### 第8章

1 主なるヤハウエはこのように私に示した。見よ、一籠の夏の果物があつた。ヤハウエは言った、2 「アモスよ、何が見えるか」。私は答えた、「一籠の夏の果物です」。ヤハウエは私に言った。

「わが民イスラエルに終わりが来た。

もはや見過ごしにすることはできない。

3 その日には、神殿の歌声は悲嘆に沈む、

——主なるヤハウエの託宣——

屍は夥しく、人は至るところに捨てて、シート!

イスラエルの悪の現実と裁きの日（8・4〜7）

4 これを聞け、貧しい者を踏みつけ、

地の苦しむ者たちを絶えさせざる者たちよ。

5 あなた方は言う、「新月祭はいつ終わるのか。

穀物を売りたいのだ。安息日はいつ終わるのか。

エファア升を小さくし、分銅は重くし、

偽りの天秤を悪用しよう。

6 弱い者を金で、貧しい者を靴一足の値で買い取るう、

屑麦を売ろう」と。

7 ヤハウエはヤコブの誇りに賭けて誓った、

「私は彼らの行状すべてを、決して忘れない」と。

《間奏曲》ヤハウエ賛歌（8・8）

8 このために地は戦<sup>おの</sup>かないだろうか、

そこに住む者たちは嘆かないだろうか。

大地のすべてはナイルのように盛り上がり、

押し上げられ、また水没しないだろうか。

苦悩の日を見つめよ（8・9〜10）

9 その日は来る、

——主なるヤハウエの託宣——

私は真昼に太陽を沈ませ、

白昼に大地を闇にする。

10 また、私はあなた方の祭を悲哀に、

あなた方のどの歌をも哀歌に変え、

どの腰にも粗布を纏<sup>まと</sup>わせ、

どの頭の髪の毛をも剃り落とさせ、

独り子を失った悲しみの日のように、

その最期を苦悩の日のようにする。

ヤハウエの言葉の飢饉が襲<sup>襲</sup>う（8・11〜14）

11 見よ、その日々が来るのだ、

——主なるヤハウエの託宣——

私は大地に飢えを送る。

それはパンに飢えることではなく、

水に渴くことでもなく、

ヤハウエの言葉を聞けない飢えと渴きだ。

12 人々はこちらの海からあちらの海へと渉り、

北から東へと歩き巡り、

ヤハウエの言葉を探し廻るが、

それは見つからない。

13 その日には、美しい乙女たちも、

若者たちも渴きで氣を失う。

14 サマリヤの罪責に賭けて誓う者たち、

また、「ダンよ、汝が神の命に賭けて、

ベエル・シェバの道の命に賭けて」と誓う者たちは、

倒れて、再び起き上がることはない。

## 第五の幻 神殿の瓦解と天地の変容 (9・1〜4)

### 第9章

1 私は祭壇の上に立っている主を見た。主は言った。

「柱頭を打ち、敷居を揺らせ、

それらすべての頭部を砕け、

私はそれらの生き残りを剣で殺す。

彼らのうちで逃げ果せる者はいないし、

逃れて、生き延びる者もない。

2 たとえ、彼らが陰府に潜り込んでも、

わが手はそこから彼らを引き出し、

たとえ、彼らが天に上っても、

彼らをそこから引き下ろす。

3 たとえ、彼らがカルメルの頂に隠れても、

私は彼らをそこから取り出す。

たとえ、彼らが私の眼を逃れて海の底に隠れても、

私は蛇に命じて、彼らをそこで噛ませる。

4 たとえ、彼らが敵に捕らえられても、

私は剣に命じて、彼らをそこで殺させる。

私は彼らの上に目を注ぐ。

それは災いのためであって、幸いのためではない」

## 《問奏曲》頌栄 3 (9・5〜6)

5 わが主、万軍のヤハウエが地に触れると、それは揺らぎ、

そこに住む者は皆、嘆き悲しむ。

地はことごとく、ナイルのように盛り上がり、

エジプトの大河のように水没する。

6 天に階きざしを設け、

地の上に天空を据え、

海の水を呼び集め、

地の面にそれを注ぐ方、

その名は、ヤハウエ。

諸国民の中でのイスラエルの導きと裁き (9・7〜10)

7 イスラエルの子らよ、あなた方は私にとって、

クシユの人々と変わりないではないか、

——ヤハウエの託宣——

私はイスラエルをエジプトの地から、

ペリシテ人をカフトルから、

アラム人をキルから導き上ったではないか。

8 見よ、主なるヤハウエの眼は罪に染まつた

この王国に注がれ、

これを地の面から滅ぼす。

ただし、私はヤコブの家を滅ぼし尽くさない。

——とは、ヤハウエの託宣——

9 しつかりと見よ、私は命令を下す、

私はイスラエルの家を諸国民の間で震わせる、

篩ふるいに掛けて、小石一つも地に落ちない。

10 わが民の罪ある者は皆、刃に掛かつて死ぬ、

災わざいが我々に近づくことも、及ぶこともないと、

彼らは言っているが。

ヤハウエの民の復興への幻(9・11〜15)

11 その日には、私はダビデの倒れた仮庵を復興し、

その破れを修復し、その廢墟を復興し、

昔日せきじつのように修復する。

12 それはあなた方に、エドムの残りの者たちと、

わが名で呼ばれるすべての国を継がせるために。

——これを行う主、ヤハウエの託宣——

13 その日々が来る、

——とは、主の託宣——

耕かす者が刈り入れる者に続き、

ぶどうを踏む者が種蒔く者に続き、

山々は甘いぶどう酒をしたたらせ、

すべての丘は溶ける。

14 私は、わが民イスラエルの境遇を転換する。

彼らは荒れた町々を立て直して住み、

ぶどうを植えて、そのぶどう酒を飲み、

園を作つてその果実を食べる。

15 私は彼らをその土地に植え付けるので、

私が与えた地から、

再び彼らが引き抜かれることはない、

あなたの神ヤハウエは言う。



このファイルは並木浩一著『アモス書を読もう』（日本キリスト教団出版局、二〇二六年刊行）に使われた訳文を収録したものです。著作権は訳者に帰属します。訳者および作品名を明示し、非営利目的であり、内容を無断で改変しない限り、再配布できます。

アモス書 並木浩一訳 © 2026 by 並木浩一 is licensed under CC BY-NC-ND 4.0.  
To view a copy of this license, visit <http://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/>

『アモス書を読もう』特典（非売品）

アモス書 並木浩一訳

---

2026年2月15日 初版発行

© 並木浩一 2026

訳者 並木浩一

発行 日本キリスト教団出版局

169-0051 東京都新宿区西早稲田2丁目3の18  
電話・営業 03 (3204) 0422、編集 03 (3204) 0424

<https://bp-ucej.jp>

---